

ほうふ

Hofu

しぎかい 市議会

だより No.65

令和4年5月15日

発行／防府市議会

編集／議会広報編集委員会

〒747-8501 防府市寿町7番1号

TEL 0835-25-2182 FAX 0835-25-8179

URL <https://www.city.hofu.yamaguchi.jp/site/sigikai/>

E-Mail gikai@city.hofu.yamaguchi.jp



出張ものづくり体験（機械科有志）



販売実習（天神まちかどフェスタ）



総合実践（考案した施策を報告する生徒）

こうこうの活動紹介

No.5

ほうふしょうこうこうどうがっこう 防府商工高等学校

本校では、平成29年度から始まったコミュニティ・スクールの仕組みを最大限に活用し、授業、学校行事、部活動などの様々な場面で地域と連携した活動を行い、生徒の成長の機会を設けています。生徒は、まちの幼児から高齢者まで幅広い世代との継続的な関わりの中で、本校地域連携活動における2つの目的を果たします。1つ目は「まちの未来に対して責任ある行動がとれるようになる」ことで、2つ目は「自身がどのような特性を持っているか、自身はまちに対してどのような貢献ができるかを探す」ことです。昨年度も、多くの生徒が様々な活動を通じて大きな成長を遂げました。



課題研究（幸せますファッションショー）

3月定例議会

議案の概要 P2～P3

一般質問 P4～P10

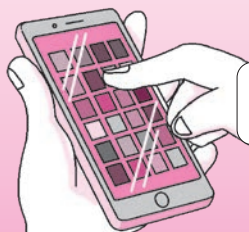
総合交通体系調査特別委員会 P10

教育民生委員会所管事務調査 P11

議会懇談会 P11

議会モニターからの意見 P11

6月定例議会の予定 P12



議会中継がスマートフォンで見られます！ 防府市議会



令和4年 3月 定例議会

3月定例議会は2月24日から3月24日までの会期29日間の日程で開催されました。

令和3年度一般会計・特別会計・上下水道事業会計補正予算、令和4年度一般会計・特別会計・上下水道事業会計予算、駐車場設置及び管理条例の廃止、障害の特性に応じたコミュニケーション手段の理解及び利用の促進に関する条例の制定、国民健康保険条例の一部改正など議案41件、推薦1件、報告4件、意見書1件を審議し、原案のとおり可決しました。

主な議案等と審議経過の概要をお知らせします。

「賛否が分かれた議案に対する議員の態度」は、P3をご覧ください。

予算

■令和3年度一般会計補正予算

16億8,915万5千円を増額し、補正後の予算総額を510億4,210万円としました。

主な事業（補正額）は次のとおりです。

・保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業

保育士等の賃金改善を行う民間保育所等に対し、必要な経費を補助します。（9,000万円）

・新型コロナウイルスワクチン追加接種事業

国の方針に基づき、3回目の接種を前倒して実施するとともに、5歳から11歳の子どもの接種（1,2回目）を実施できるよう、体制を整備します。（1億円）

・市道栄町藤本町線道路改良事業

中心市街地を横断する道路を整備します。（1,600万円）



・新庁舎建設事業（本体工事）	12億5,386万円
・牟礼公民館建替事業	1億3,030万円
・消防署東出張所建替事業	1,200万円
・国道2号台道・銚銭司区間拡幅促進事業	420万円
・農道牟礼小野線整備事業	1億376万円
・広域防災広場整備事業	3億5,660万円
・市道栄町藤本町線道路改良事業	1億9,503万円
・緊急浚渫推進事業	1億5,000万円
・ICT教育推進事業（GIGAスクール構想）	1億4,454万円
・創業・交流センター整備事業	1億5,000万円
・市有施設のLED化	1億7,000万円
・駅北公有地利活用事業	1億2,262万円
・安全・安心・住まい助成事業	5,000万円
・スポーツ施設改修事業	9,519万円
・駅周辺駐車場利用料金一本化事業	2,000万円

■令和4年度特別会計予算・上下水道事業予算

7つの特別会計予算、3つの上下水道事業会計予算を原案のとおり可決しました。（賛否No.3～6）

条例

■障害の特性に応じたコミュニケーション手段の理解及び利用の促進に関する条例の制定

基本理念等を定め、障害のある人をはじめすべての市民が住み慣れた地域で共生し、安心して暮らせる地域づくりの実現のため、条例を制定するものです。

■創業・交流センター設置及び管理条例の制定

創業希望者や市内事業者等との交流の促進を図ることにより、本市の産業を振興し、地域経済の活性化に寄与するため、創業・交流センターを設置するものです。

■令和4年度一般会計予算

当初予算規模は、対前年度比25億4,000万円増の468億3,000万円（過去最大規模）とする予算案が提出され、賛成多数で可決されました。（賛否No.2）

主な新規・拡充の事業（予算額）は次のとおりです。

■消防団員及び水防団員の報酬及び
費用弁償条例の一部改正

庶務に従事する団員に月額3,000円、災害の防御警戒及び捜索活動のために出動した場合一日につき8,000円、訓練、講習に参加した場合一日につき5,000円を支給するものです。

一般議案

■工事請負契約の締結について

新庁舎（庁舎棟・福祉棟）建設の工事請負契約の締結を可決しました。

- ・建設主体 契約金額 66億3,740万円
- ・電気設備 契約金額 10億4,280万円
- ・機械設備 契約金額 13億680万円

人事

■人権擁護委員候補者の推薦

再任 はやし きみひこ 林 公彦 さん（大字中山）
新任 やまぐち たいし 山口 泰資 さん（三田尻一丁目）

令和4年度一般会計予算に対する意見・要望

■賛成意見

- ・過去最大の予算であるが、国や県の補助制度を活用し財源不足をしっかりと補っている。
- ・カーボンニュートラルやデジタル化の推進等、時代の要請に応じた事業が多く含まれており、コロナウイルスに対応した感染症対策や経済対策も計上されており高く評価できる。

■反対意見

- ・県議会において、市役所敷地内への防府警察署移転に関する予算が計上されたが、警察署移転について市民への周知が足りていない。一方的な情報提供だけでなく、説明会を開催すべきである。

■要望

- ・肥料や燃料の価格高騰により、苦しい立場に立たされている農業者を支える制度等も検討してほしい。
- ・指定されている空き家に対して、自治会や地域の方に負担のかからないような、補助施策を考えてほしい。
- ・残業が恒常的になっている職場もあると聞いており、市民に対するサービスが不十分にならないよう、十分な職員体制となることを求める。
- ・高齢者福祉や、子育て支援の充実など、ソフト面の積極的な取組をお願いしたい。

— 賛否が分かれた議案に対する議員の態度 —

○賛成 ×反対

賛否 No.	令和 4 年第 1 回定例会（3 月）	会派・議員名																				賛否の合計		議決結果				
		自由民主党										公明党		改革		絆		敬天会		無所属の会					市民クラブ		日本共産党	
		青木	牛見	宇多村	梅本	河杉	曾我	田中敏	橋本	藤村	安村	河村	高砂	村木	今津	和田	三原	山田	石田	吉村	久保	森重	田中健		清水	松村	賛成	反対
1	非常勤職員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例等の改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	22	2	原案可決	
2	令和 4 年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	21	3	原案可決	
3	令和 4 年度国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	22	2	原案可決	
4	令和 4 年度介護保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	22	2	原案可決	
5	令和 4 年度後期高齢者医療事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	22	2	原案可決	
6	令和 4 年度水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	23	1	原案可決	
7	国民健康保険条例の改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	22	2	原案可決	

※賛否が異なる議案等を掲載しています。ここに掲載していない議案等は、全会一致で可決しました。
※上田議員は議長のため、通常は採決に加わりません。

Q&A

一般質問



3月定例議会では、19名の議員が市政について質問しました。

6月に会議録を製本予定ですので、市役所1階閲覧コーナー、防府図書館、ホームページで見ることができます。

各見出しに掲載されている二次元コードから、各議員の一般質問の様子を録画映像でご覧いただけます。

なお、本欄は、議員本人が質疑の内容を要約したものを掲載しています。



会議録はこちら



次期市長選への出馬意思是 令和4年度当初予算について

田中 敏靖（自由民主党）



問 任期満了に伴う次期市長選の出馬意思について伺う。

市長 次期市長選に立候補することを決意した。

4年前、公約に掲げていた大きな課題、高い山であった新庁舎の建設、県の農業試験場の誘致、農道牟礼小野線の整備について、市議会の皆様、市民の皆様の御理解と御協力もいただき、目途をつけることができた。

一方で、これらの課題に目途をつけることができた今、防府の未来に向けて、新たな課題、より高い山が見えてきた。その山の頂へは、第5次総合計画「輝き！ほうふプラン」に道筋を示しているが、その道は、これまで以上の市議会の皆様、市民の皆様の御理解と御

協力がなければ登れない。防府を愛する心をもって、市議会の皆様、市民の皆様と一体となって、国や県としっかり連携を図り、明るく豊かで健やかな防府の実現を目指し、スピード感をもって、坂道を全力で駆け上がる決意をした。

問 令和4年度当初予算編成にあたっての所見を伺う。

市長 防府のまちづくりを着実に推進するために、感染症に対応しつつ、第5次総合計画「輝き！ほうふプラン」における重点プロジェクトをしっかりと進めるとともに、カーボンニュートラルやデジタル化に取り組み、「ほうふの未来をかたちにする予算」として、令和3年度補正予算と一体的に編成した。

このように、令和4年度の当初予算は、総合計画をしっかりと支える安定した財源基盤のうえで、スピード感をもって各種事業を確実に進める。



市長施政方針について

今津 誠一（改革）



意見 令和4年2月24日、本会議において市長より山口県議会が、防府警察署の市役所敷地への移転に関する予算を上程するとの報告がされた。

警察署の建替は当然先のことと思っていたのでまさに青天の霹靂である!!。このことについて問題点を4点指摘する。

第一点。報告の中で「防府警察署の市役所敷地への移転は市議会とともに要望した」と述べられているが、これは事実ではない。事実は単に当時の議長と共に県に行ったということで、議会全体の同意を得てのことではない。

第二点。市にとって一大事業である新庁舎建設計画について、これまで市民への説明会が一度も開催されていない。市民の声に直接耳を傾けることなく、独断的に進められ、民主的な市政運営とは程遠い運営がされてきた。

第三点。防府警察署の市役所敷地への移転について、市民との十分な議論がなされていない。そのような状況の中で、なぜ県が市の頭越しに予算を計上するのか？市の独立性を侵す県の暴挙と言っても過言ではない。

第四点。新庁舎建設計画の全体を総括すると、これは正しく県の財政負担を市に被せる計画である。池田市長が県と一体となって県のために押し進めた計画である。

この度の防府警察署の市役所敷地への移転により、いよいよそのことが明らかになった。この移転については、今後市民がどのように考えるか見守っていきたい。



高齢者に配慮した施策について！ ◆市の「成人」の考えについて！

山田 耕治（絆）



問 シニア層とアクティブシニア層との施策、戦略を分けて考えるべきでは？

市長 高齢化社会において、しっかり社会参加ができ、安心して、生活できる施策を行っていく。

問 75歳以上の高齢者のバス運賃を無料化しては？

市長 令和6年度には、新たな市地域公共交通計画も予定。アンケートも実施しながら、提案のあった高齢者のバス支援も含め、持続可能な助成制度となるよう検討していきたい。

問 成年後見センターが設置されているが、周知が足りないのでは？また、相談件数と運営上の問題点は？

健康福祉部長 市広報やホームページ、ケアマネージャーなどへ周知を図っている。昨年4月から2月末で210件の相談があった。設置して間もないことから周知に努め、センターの人員配置についても適切に考えていきたい。



◆市の「成人」の考えについて！

問 4月から18歳からが成人となるが、市民への周知は？

市長 市広報やホームページで周知を図る。現在の18歳、19歳、約2,000人が新成人となり、消費者被害が懸念されることからリーフレットを配布し、注意喚起する。

問 成人式は20歳での開催を望む声が多い。如何か？

市長 20歳が定着しているなど、実行委員会で「二十歳の集い」として開催が決定。来年は、三友サルビアホールで開催。4月の市広報やホームページで周知する。



2050年カーボンニュートラルについて 農業振興、学びを止めない教育環境

河村 孝（公明党）



問 市内企業も注目する「2050年カーボンニュートラル」へ向けて、本市としての取組は。

市長 新年度予算案では、「カーボンニュートラル元年」と位置づけ、市民運動、環境教育、ブルーカーボン等、16事業、総額4億643万円を計上。市民、事業者、市の三者が連携を図りながら、しっかりと取り組む。

問 「農林業の知と技の拠点」と連携した農業振興は。

市長 新年度では、県と連携し、「産地拡大促進事業」を創設。新たに農業参入する企業の生産体制を支援。農業大学の「土地利用学科」の新設に合わせ、集落営農法人等の経営基盤を強化するために、就業者雇用

から5年間の支援制度を大幅に拡充する。

問 6次産業化の推進等、販路拡大策は。

市長 同拠点にできる食品加工オープンラボ等を活用し、県と連携してしっかりと支援する。

問 華城地域の農業推進は。

市長 農業活性化に向けた取組をしっかりと支援する。

問 学びを止めない教育環境の構築で、GIGAスクール構想の体制強化が重要ではないか。

教育長 タブレット端末の管理やセキュリティ対策等、体制強化も行いながら、GIGAスクール構想を推進する。

問 コロナ禍でのコミュニティ・スクールの強化は。

教育長 令和3年度から助成制度や特別枠を導入し、特色ある先進的な取組を支援。これからも、しっかりと強化に努める。



住生活の課題に対応した施策の推進について LED防犯灯の取替え(更新)について

青木 明夫（自由民主党）



問 住生活の課題に対応した施策の方向性を提示する市住生活基本計画での空き家対策は。

市長 危険な空き家にネット等を設置するなどの応急処置を行っている。新年度からは空き家と狭あい道路の一体的な解消のため、空き家対策防府モデル事業に取り組み、自治会との連携を図っていく。

問 地域での子どもたちが安心して過ごせる場所の整備や子育ての支援活動の充実は。

市長 子どもを交通事故などの危険から守るためにカラー舗装、路肩の改修など行っている。公園や広場についても遊具の安全点検や、計画的に改修を行っている。

問 頻発、激甚化している自然災害に対する住宅・住環境の防災・減災に向けた総合的な取り組みは。

市長 計画では住宅・住環境の防災・安全対策の推進を掲げ、住宅の耐震化促進事業や浸水被害の軽減を目的とした河川の^{しゅんせつ}浚渫工事などの防災対策に取り組んでいる。防災リーダーの養成など自主防災活動を支援している。

問 LED防犯灯の取替えは、その都度の取替えがよいのか、それとも一斉取替えがよいのか。

市長 LED防犯灯は耐用年数10年とされており、その都度でも一斉取替えでも支援する。

問 取替経費の概算払制度の活用は。

市長 自治会長の研修や助成金ガイドブックなどで周知を図る。令和4年度から自治会での設置が困難な箇所は公設の地域安心防犯灯を設置する。



防犯灯



幹線道路沿いの用途地域の見直しについて

曽我 好則（自由民主党）



問 まちづくりに欠かせないのが、幹線道路によるネットワークの構築であり、災害対応、交通安全、渋滞緩和などの機能だけでなく、これら道路が持つポテンシャルを最大限に引き出すことが重要である。

現在、都市計画道路松崎牟礼線や松崎植松線など、既に一部供用開始してから数年経過しており、適正かつ合理的な土地利用を実現するためには、用途地域の見直しが必要であると考えますが、見直しのタイミングと今後の対応について、所見を伺う。

市長 松崎牟礼線では、既に供用開始している区間は、周辺の居住環境に調和する店舗の建築ができるよう、

「第一種低層住居専用地域」から、「第一種中高層住居専用地域」に見直しを行ってきており、引き続き、牟礼小学校から西に向けての整備中の区間も同様、用途地域の見直しを進めていく。

また、松崎植松線では、供用区間も含め、店舗、事務所、倉庫を建築できるよう近隣の用途地域に併せ、「第一種中高層専住居地域」から「第二種中高層専住居地域」に見直しを進めていく。

今後も、地域の皆さまからの御理解を頂きながら、必要に応じ、適切なタイミングで見直しを行う。

まとめ 幹線道路沿いの用途地域の見直しは、建築条件いわゆる建ぺい率や容積率が緩和されるので、今まで以上に敷地が有効に使い、資産価値も高まり、売買も発生し、民間活力が期待できる。今後も、より快適な住環境となるよう適切な誘導をお願いする。



タクシーを呼んでも、なかなか来ない！ 市民の移動手段の確保は大丈夫？

松村 学（防府一番）



問 路線バスへの赤字補填の補助金が10年前と比較し、2倍の7,686万円に膨れ上がっている。バス停までの距離が遠く、乗りにくいなどの声があるが、大幅にバス停を増やすなど抜本的な政策転換が必要では？

市長 令和6年3月に市内全バス路線で交通系ICカードが使えるようになり、利便性が大幅に向上する。路線バスは地域交通の基幹なのでしっかり維持する。

問 タクシードライバーは10年前と比較し、半分に減り、コロナ禍でさらに減り続けている。このままでは市民が自由に移動できなくなる。タクシードライバーを確保するための奨励制度を創設できないか？

市長 タクシーは早朝・深夜の移動、観光、病気、出産など緊急時の移動など重要な交通手段。ドライバーの高齢化や人材不足が進んでおり、同様に路線バスについてもドライバーの確保に向け、関係団体と連携し、検討する。

問 持続可能な公共交通とすべく、事業者の経営支援と年金暮らしの運転できない高齢者の生活支援のため、運賃助成券の増額と利用金額の上限を増やせないか？

市長 助成券は運転免許のない高齢者の約1万3千人を対象としている。足りないとの声もあるので、必要な方に必要な支援が届く良い制度になるよう検討する。

要望 デマンドタクシーなど地域が考える地域主体の取組みを市が支援するならば、移動で困った人が解消できるような思い切った施策と財政措置をお願いする。



安心して暮らせる 市営住宅の提供について

高砂 朋子（公明党）



問 市営住宅についての基本的な考えは。

市長 令和3年度に見直した「市公営住宅等長寿命化計画」において、誰もが快適に過ごせる居住環境の整備や住宅困窮者の居住の確保、適正な供給量を踏まえた住宅の更新などの基本目標を掲げ、老朽化した住宅の更新と改修を進める。住まいのセーフティネットとしての役割を果たし、高齢者や身体障害者の方をはじめ、入居される方が安心して暮らせる市営住宅になるよう努めて参りたい。

問 市ホームページに、住宅内部の写真や間取り図を公開する等、もっと分かりやすく情報提供すべきでは。

土木都市建設部長 今後、住宅内部の写真数を増加し、間取り図を追加。リーフレットや冊子も充実し、入居希望者の立場に配慮した情報提供を行う。

問 高齢者や障害者の方が入居される際、対象者へ緊急通報装置のご案内をしてはいかがでしょうか。

土木都市建設部長 市営住宅の管理者の立場からも、今後、緊急通報装置の周知を行い、関係部局と連携し、入居者に働きかけていく。

問 バリアフリーの市営住宅をしっかりと造って欲しいが。

土木都市建設部長 今後、建替えを行う全ての市営住宅をバリアフリー対応とし、既存住宅についてもバリアフリーに配慮した改修を行う。

要望 DV被害者世帯が住居決定まで、一時的に住めるような配慮を。





野球場再整備について・家庭と学校をつなぐオンラインシステムについて・デジタル教科書への対応について

梅本 洋平(自由民主党)



問 今後検討される野球場の改修についてどのような規模での改修を行うか。また他市にない特色のある野球場にすべきと考えるがいかがか。

市長 改修について検討すべき時期に来ている。LED化・デジタル化を含めて野球連盟、スポーツ少年団などの関係団体と検討していく。野球を愛する人に夢や希望を与える舞台となるような野球場にしたい。

問 新型コロナウイルス感染症の対策として学校では毎朝すべての子供の体調を把握するよう求められている。そのような中で、アプリを利用して学校に連絡し、その内容を一括管理するシステムを導入する学校が増

えてきている。市内学校での利用状況はいかがか。市主導にて全校導入すべきと考えるがいかがか。

教育長 小・中28校のうち5校において健康観察アプリを導入しており、児童生徒の体温や体調を登校するまでに把握することができ、人数の多い学校では効果が上がったと聞いている。学校と家庭の連絡方法は様々あることから、効果的な方法について試行錯誤しながら取り組んでいる。アプリの活用についても引き続き研究する。

問 小5から中3の学年に4月からデジタル教科書が1教科提供される。どのように対応していくか。

教育長 新年度より小学5、6年及び中学校全学年に英語科のデジタル教科書が導入される。現在でも一部の教科でデジタル教科書を購入し授業を行っており、この情報を各学校に周知し4月からの授業につなげる。



市内河川等に架かる石橋等からの歩行者転落防止対策について・光ファイバー網の早期整備について

宇多村 史朗(自由民主党)



問 市道、県道の橋には、転落防止用のガードレールが施工されているように見受けられるが、市道認定されている橋の設置状況を伺う。

土木都市建設部長 市道として管理している橋725のうち432か所にガードレールの設置がしてある。

要望 未施工の橋の早期設置が望ましいが、危険な橋については、自治会に問い合わせ、安全対策の必要性について、優先順位をつけることを要望する。

問 市道認定されてない、赤線の石橋等でガードレール等、歩行者転落防止対策の無いものが多く見受けられるが、今後の安全対策についてどのようにお考えか。

土木都市建設部長 赤線・青線については、従来より、地元で対応してもらうこととしている。石橋の安全対策に要するゼブラテープ・滑り止めの資材は市が支給する。地元等で適正管理されたい。

問 本市の光回線網の整備状況について伺う。

総合政策部長 本市の光ファイバー網の整備率は97.02%と県平均を上回るものの、富海、小野、野島の中山間地域の整備が遅れている。

問 未整備の中山間地における光ファイバー網の早期整備について、どのようにお考えか伺う。

総合政策部長 全国市長会等を通じて支援制度の拡充、継続を求めていく。



ガードレールのない石橋



特殊詐欺防止対策について

村木 正弘(公明党)



問 詐欺の手法は、年々巧妙化・複雑化し、金額も高額化し、人命に関わる事件も発生している。コロナ禍で、在宅時間が長くなり、相談できる友人らとの接触機会が減っていることも影響している。各関係機関との連携は。

市長 誰もが安心して健やかに暮らせる地域社会の構築のためには、防犯対策は大変重要で、被害防止のため地域包括支援センターなどと連携を図り、令和4年1月に、警察、市社協、民生委員・児童委員協議会及び、市の関係課などで構成する「防府市消費者被害防止ネットワーク連絡協議会」を設置し、情報共有、連

携強化に努めている。

問 県内では昨年108件、約2億7千万円の被害があったが、市内での被害件数、被害金額は。

生活環境部長 令和2年度では5件、1,541万円、令和3年度では7件、4,846万円と大幅に増えている。

問 詐欺被害防止のために、県内の9つの市町が行っており、不審電話が大幅に減少したとの声もある、自動通話録音装置などの貸出しや、購入助成をしては。

総合政策部長 他市の動向を調査したところ、平成27年度から装置の貸出しを始められたが、近年では貸出し件数も伸びていない。貸出し制度を作るより、家族の絆や市民一人ひとりへの声かけ、心がけが重要と考える。引き続き、関係機関と連携し、注意喚起など情報提供を積極的に行い、被害防止に向けた啓発に努める。



防府北基地への第2宇宙作戦隊配備 防府でも住民説明会の開催を！

田中 健次（市民クラブ）



問 防府北基地に配備される「第2宇宙作戦隊」に関する令和4年度予算について、防衛省からどのような説明を受けているのか？

市長 国の予算案閣議決定後の12月下旬に中四国防衛局から情報提供があり、庁舎建設に必要な経費として、調査、設計等で約2億円が計上されている。

問 今後の整備スケジュールはどうなるのか？

総務部長 令和4年度に庁舎の設計、令和5年度以降に建設工事に着手、可動式の電波受信用アンテナ、リファレンスアンテナは令和5年度の運用開始を予定し、それまでに防府北基地に配備されると聞いている。



子ども達へのワクチン接種とマスクの 着用、3回目のワクチン接種について

牛見 航（自由民主党）



問 3回目のワクチン接種について。

市長 国の法定受託事務として厚生労働大臣の指示に基づき実施している。

意見 1月26日米製薬会社のファイザー社はオミクロン株に対応するワクチンの製造を始めたと発表、また厚生労働省も効果についてのエビデンスは持っていないと回答、ホームページにも記載してある。今のワクチンはオミクロン株には対応していないと発表している中で、なぜ急いで進める必要があるのか？

問 5歳～11歳へのワクチン接種、マスク着用の推進についてはどのように考え対応しているか。

問 宇宙監視レーダー施設が建設される山陽小野田市やイージスアショア配備計画があった萩市や阿武町では、住民説明会が開催された。防府市でも住民説明会の開催を防衛省に求めるべきではないか？

総務部長 防府北基地に配備のリファレンスアンテナ発信電波は、人体や周囲への影響がないと聞いている。昨年の12月議会で指摘いただき、宇宙作戦隊について市ホームページに掲載し、市民への周知を図っており、住民説明会の開催を求めることは考えていない。

その他の質問項目

◆小・中学校でのタブレット端末の利用について

◆市長施政方針の庁舎建設について

①合築する県関係事務所の建築費負担は怎么样了のか？

②防府警察署の移転用地は、売却か貸すのか？

市長 希望される子ども達が安心して接種できるよう体制を整える。マスクについては文部科学省のマニュアルに基づき適切な指導をしている。

要望 コロナで亡くなられた10代以下は4名（うち基礎疾患のあった方3名、交通事故1名）、ワクチンの副反応で亡くなられた10代以下はすでにそれを超えている。ウイルスよりもワクチンの副反応で子ども達が亡くなる可能性が高いデータがあることをしっかり周知していただきたい。またワクチン接種はあくまで受けるかどうかは自由、学校などで接種確認を行うことが絶対にないよう強く指示を出していただきたい。



市役所職場内で公職選挙法違反 行方？

清水 力志（日本共産党）



問 高齢者等バス・タクシー運賃助成制度について、バス・タクシーだけでなくデマンドタクシーなど、新たな交通モードでも使用できないか。

地域交流部長 デマンドタクシーは十分低廉な価格になるように設定している。

問 運転免許証を持っている高齢者にも対象拡大を。

地域交流部長 この制度は免許を自主返納された方や運転免許証をお持ちでない高齢者の移動手段の確保のために実施している。

問 郵送による助成券交付はできないか。

地域交流部長 直接交付により説明や意見を聞かせて

もらっている。代理人の申請・交付も可能としている。

問 職員組合が発行する機関紙によると、昨年の衆議院総選挙の立候補者の1人が実施する個人演説会に参加するよう市役所職場内で動員がかけられたとあるが事実か。

総務部長 そのような事実はない。

問 組合の申し入れを受けて、事実関係を調査したか。

総務部長 調査はしていない。

問 調査をしていないのに、なぜ「事実はない」と言えるのか。

総務部長 組合に事実はないと伝えた。

問 今、私の手元に動員をかけたと思われる庁内メールがある。題名「事務連絡」とあり、候補者の演説会の日時・場所が掲載。課内での動員人数まで指定されている。これは何の目的で、誰の指示で発信されたのか。

総務部長 事実関係は承知していない。



佐波川右岸広域防災広場について 市内全小・中学校の制服や校則等について

和田 敏明 (改革)



問 防災広場7ヶ所の根拠・駐車場の広さは。

市長 輸送拠点や仮設住宅の設置等に必要な広さ・災害時に対応できる台数分を確保。

問 平常時の使用方法は。

市長 運動広場や憩いの場。

問 防災広場を、総合医療センター等、その他の施設への転用はないか。

市長 (明確な回答なし)

問 県のアクセス道路等と合わせた地元への説明は。

市長 県と一緒に地元説明会を開催したい。

問 ジェンダーレス化や広範囲での再利用による経費

削減を考慮し、市内全小学校、全中学校の制服を統一しては。

教育長 教育委員会としては統一せず、各学校長が判断。

問 それでは学校によって不平等が生じる。中立である教育委員会がただすべきでは。

教育長 制服は各学校の歴史や伝統が反映されたもので各学校の判断となる。

問 名札から個人情報を特定され、事件に巻き込まれるケースが相次いでいるが、名札着用は必要なのか。

教育長 事件事故が起きた時に身元が分かる。

問 児童生徒を守るための対応は。

教育長 協議を続けるよう各学校長へ指示している。

意見 このことについて、昨年12月に指摘したが、一体いつまで協議をしているのか。

その他の質問 校則の見直しについて



田畑の荒廃について

森重 豊 (無所属の会)



問 耕作者の高齢化や、担い手の減少等により、現在、市内周辺どこに行っても耕作放棄地は、確実に増えてきている。現在実施している調査方法や、その調査結果について、また解消に向けての取組について伺う。

市長 耕作放棄地対策の基本的な考えは、日本人の食生活の多様化により、米の消費量は減少に転じ、昭和40年代には生産過剰となり、生産調整が行われた。

こうした流れの中で、全国的に耕作放棄地が増加していることから、地域が一体となり農地の保全に取り組むことが重要と考えている。

本市では、多面的機能支払交付金制度や中山間地域

等直接支払制度を活用して、各地域での保全会等の設立や共同活動などへの取組の支援、また農地中間管理事業による農地の集積・集約化の促進、ほ場整備事業や集落営農法人の設立等、経営体の育成や、農業の活性化に取り組むことが効果的な耕作放棄地対策と考えている。

農業委員会事務局長 農地の有効利用の促進を目的に、平成21年度から荒廃農地の状況や面積等を農業委員会を中心に、一筆ごとに目視で確認している。

近年の荒廃農地は、平成30年度184ha、令和2年度190haと面積は毎年増加している。解消への取組については、荒廃状況など農地の実情に応じたきめ細かい対応を行うため、平成29年度から「農地利用最適化推進委員」を設置し、規模拡大を希望する農業者と農地所有者との、人と農地のマッチングを推進している。



路上が遊び場となっている子どもたち 思いっきり遊べる場は必要—教育長

三原 昭治 (絆)



問 右田などの周辺地域は、著しい住宅建設に伴い、子どもが急増している中で、路上が遊び場となっているが、実態調査の結果は。

土木都市建設部長 道路を身近な遊び場として、子どもたちが遊んでいる実態を確認している。地域から連絡があれば注意、指導している。また、配布物で保護者に周知を図っている。

問 注意、指導、配布物の結果は。

教育長 しばらくは収まるが、また同じように繰り返している。

問 教育委員会では、教育のまち日本一を掲げている

が、子どもと遊びについての考えは。

教育長 第2次市教育振興基本計画においては、基本目標を、21世紀をたくましく生き抜く人材育成とし、心身、精神的なたくましさを備えることなどとしており、遊びから得るものは多い。

問 遊び場がなく、路上が遊び場になっている現状をどう思うか。

教育長 外遊びで学ぶことは多く、自由に思いっきり遊べる場は必要と考える。

問 災害時の対応など、行政各分野におけるドローンの活用を。

市長 令和5年度に消防本部に導入する。また、行政各分野への導入は、必要な部署に整備する。ドローンは空の産業革命といわれ急速に進歩しており、行政サービス全般に活かされるよう取り組んでいく。



市内の情報インフラについて (フリー Wi-Fi)

吉村 祐太郎 (敬天会)



問 令和2年12月にも質問した公共施設へのフリー Wi-Fiの設置等、デジタルインフラの整備についてどのように考えているか。

市長 本市のデジタル化を推進するにあたり、デジタル技術の活用による、誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化を目指しており、情報通信インフラの整備が必要不可欠だと考えている。令和3年4月にデジタル推進本部を立ち上げ、専門的な知識や経験を有する民間人材を任用するなど、デジタル推進体制を強化している。Wi-Fi環境の整備は、重要な情報インフラ設備と位置づけ、文化スポーツ施設や観光施設を中心

に整備を進め、令和3年12月には防府図書館に設置したところである。

また、令和4年度には全公民館へのフリー Wi-Fi設置とともに、遠隔相談システムの導入や高齢者を対象としたスマートフォン教室を実施することにしている。

国・県と連携し、市民が誰一人取り残されることなく、地域にいながら充実した暮らしができるよう、情報インフラの整備を含め、しっかりと本市のデジタル化に取り組んでいく。



華城小学校周辺道路の整備に 合わせた華城地区の未来予想図

藤村 こすえ (自由民主党)



問 いよいよ令和4年度から都市計画道路松崎植松線の延伸、そして華城小学校周辺道路整備が動き出す。道路整備はどのように考えておられるか。

市長 華城小の通学路としての安全安心はもとより、華城地域の渋滞緩和や活性化につながる。さらに、計画中の防府北基地東道路を含めた市の中心部と南部とを結ぶ幹線道路としての役割も果たす。2車線で両側に歩道を整備する。華城小の改築事業も実施することから、1年前倒しし、令和10年供用開始を目指す。

問 隣接する華城小敷地への影響、増改築計画との連携は？

市長 西側の市道小徳田野地線の拡幅整備にあたっては道路を直線にする必要があり、留守家庭児童学級の移設が必要。直線化で道路の多くが学校敷地内にかかる。また、同小の改築では大規模な仮設校舎が必要。令和5年度には児童数の増加に伴うプレハブ校舎建築等、これらの用地の確保は現在の敷地内では困難であり、近隣に土地を求める必要があると考え、候補地を選定中。

要望 近隣土地であるJA敷地の活用について検討されてはいかがか。JA敷地は広大であるので、留守家庭児童学級の移設、小学校の増改築、以前から要望している公民館の建て替え地としても利便性もよく、消防団の倉庫等、地域の大事な施設を機能的に配置することも可能となる。一本の道路整備を転機とし、近い将来を見据えた華城地域のまちづくりにつながる大変重要な道路整備。今後の取り組みに期待している。

総合交通体系調査特別委員会を開催

【公共交通及びデマンドタクシー等の現状について】

コロナ禍における中国運輸局管内の交通事業者の状況及び市内の鉄道、乗合バス、タクシーの輸送人員の推移、切畑及び玉祖のデマンドタクシーの運行概要等について執行部から説明を受けました。

問 市と路線バス事業者が協議する中で、路線バスに対する問題点などをどのように考えているか。

答 路線バスの便の最適化や利用促進が考えられる。調査等の結果を踏まえ、便の最適化について引き続き事業者と検討していく。また、バスの半額券の配布などを行い、路線バスの利用の促進に努める。

【地域の実情に応じた交通サービスの検討について】

運賃助成、路線バスダイヤの変更、デマンドタクシー

等のこれまでの取組と、地域の主体的な移動手段の取組の促進等について執行部から説明を受けました。

問 65歳以上の高齢者の路線バス運賃をゼロにするなど、思い切ったことを実施してみてもどうか。

答 現在、公共交通の核となる路線バス・タクシーの維持、デマンドタクシーの運行、バス・タクシー運賃助成を3本柱として維持し、更に今後は個々のニーズに合った新しい仕組みを地域の皆様と一緒に議論し、地域の主体的な交通手段の取組を促進していく。

〈注釈〉

デマンドタクシーとは

電話予約に応じて運行し、自宅等の指定場所から目的地まで、途中乗り合う人を乗せながら、それぞれの行き先に送迎するタクシーによるサービス。



教育民生委員会所管事務調査

【文化福祉会館の一部機能移転について】

ルルサス防府1階の一部を購入し、事務室と5つの交流室、オープンスペースを整備することにより、各種講座や貸館事業を行う。

交流室には音楽教室に使用できる防音室や、158平米の広さの部屋、茶道に使える部屋を設け、現在、文化福祉会館で行われている市民教養講座をルルサス防府で行う予定である。

問 オープンスペースは高校生等の学生が勉強するスペースと考えてよいのか。

答 学生さんのほかに、小さい子どもさんや年配の方にも使っていただきたいと考えている。

問 防犯対策について、どのように考えているのか。

答 ルルサス防府が現在契約している警備会社への依頼を考えている。

問 自治会が貸館を利用する場合、利用料は免除となるのか。

答 現在の文化福祉会館と同様の取扱いとなり、自治会の活動として部屋を借りられる場合は利用料が免除となる。

問 フリー Wi-Fiのセキュリティ対策は？

答 メール認証等による、より安全なフリー Wi-Fiの環境を整備していきたい。

要望 オープンスペースにはタブレット等の充電に使用できるコンセントを設置してほしい。
防音室にピアノを設置してはどうか。



ルルサス防府

議会懇談会を開催

シルバー人材センターから提出された「シルバー人材センターに対する支援（インボイス制度の取扱い）について意見書の提出を求める陳情書」について、その内容や現状の具体的な説明を受けるため、議会懇談会を開催しました。

趣旨説明 消費税において、令和5年10月から適格請求書等保存方式（インボイス制度）が導入される予定であるが、シルバー人材センターの会員はインボイスを発行することができず、そのため、新たに配分金に含まれる消費税を納税する必要が生じるが、会員に対して形式的に同制度を適用することは、会員の配分金を減少させ、やる気、生きがいを削ぐこととなる。会員の配分金に含まれる消費税をシルバー人材センターが納税することは、収支相償を原則とするシルバー人

材センターにとって新たな税負担となり死活問題である。よって、シルバー人材センターが安定的な事業運営が可能となるよう、国に対し、適切な措置を講ずることを求める意見書を提出していただきたい。

問 全国的にはどのような動きになっているか。

答 全国シルバー人材センター事業協会が音頭をとり、全国の地方議会へ働きかけを行っている。

〈注釈〉

適格請求書（インボイス）とは

売手が買手に対し正確な適用税率や消費税額を伝えるための書類や電子データ。

適格請求書等保存方式（インボイス制度）とは

売手は買手から求められたときは、インボイスを交付しなければならない。売手は、仕入税額控除の適用を受けるには、インボイスの保存が必要となる。

議会モニターからの意見

モニターから寄せられた意見などの一部を紹介します。

（内容は要約しています。詳しくは議会ホームページの議会モニターのページをご覧ください。）

通 信 内 容	市 議 会 回 答
議会のタブレット導入に際して、ペーパーレス化後のコスト低減費（数量）について目標値試算を公表していただきたい。	タブレット導入の第一の目的は、議員活動及び議会審議の充実であり、ペーパーレス化は付随的な効果として期待されることです。また、今回のタブレットの導入は市役所全体ではなく、議会のみですので、ペーパーレス化も限定的であり、目標値は設定しておりません。ご理解いただければと思います。

議会日誌

1月

31日 議員タブレット操作研修会

18日 予算委員会（全体会）

24日 3月定例議会閉会
広報編集委員会

2月

7日 議会運営委員会
9日 総合交通体系調査特別委員会
10日 教育民生委員会（所管事務調査）
14日 議会改革推進協議会
15日 議会懇談会（産業建設委員会）
18日 勉強会
21日 議会運営委員会
24日 3月定例議会開会
広報編集委員会
25日 予算委員会（全体会）
常任委員会（教育民生・産業建設）

4月

6日 広報編集委員会
12日 広報編集委員会

3月

2日 本会議（現年度採決）
4日 本会議（一般質問）
7日 本会議（一般質問）
8日 本会議（一般質問）
9日 本会議（一般質問）
議会運営委員会
議会改革推進協議会
11日 予算委員会（全体会）
14日 総務委員会・予算委員会総務分科会
15日 教育民生委員会・予算委員会教育民生分科会
16日 産業建設委員会・予算委員会産業建設分科会

6月定例議会の予定

6月28日（火） 本会議（初日）
7月1日（金） 一般質問
4日（月） 一般質問
6日（水） 一般質問
7日（木） 一般質問
11日（月） 予算委員会（全体会）
12日（火） 常任委員会・予算分科会（総務・教育民生・産業建設）
15日（金） 予算委員会（全体会）
21日（木） 本会議（最終日）

会議の開会時刻は、午前10時です。
なお、日程及び開会時刻は変更になる場合があります。
詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局 TEL (0835) 25-2182



6月定例議会の予定

編集後記

・『高校の活動紹介シリーズ』

今回は防府商工高等学校の取り組みをご紹介いたしました。
学校長をはじめ、ご協力いただきました関係者の皆様に感謝申し上げます。

・『タブレット導入しての議会スタート！』

いよいよ議会ではタブレットが導入され、3月定例議会から活用していますが、最初は、取り扱いに四苦八苦している議員も見受けられましたが、研修や議員同士が教え合うなどしながら、想像していたよりもスムーズに受け入れることができているようです。

・『二次元コード』

市民に少しでも議会に触れていただけるよう、今号の議会だよりから、各議員の一般質問に「二次元コード」を付け、見たい質問の録画映像をダイレクトに、ご覧いただくことが可能となりました。

広報編集委員会といたしましては、満足することなく、市民に寄り添った議会だよりの発行に努めてまいりますので、ご意見、ご提言をお寄せいただければ幸いです。

議会広報編集委員会（◎委員長、○副委員長）

◎和田敏明 ○宇多村史朗 石田卓成 上田和夫 河杉憲二 村木正弘

